

〈入学者受入方針〉

日本大学経済学部は、学生が相互の切磋琢磨を通じ自己成長を促す環境を整えるとともに、本学部の教育理念と教育目標にしたがって入学選抜を行い、多様な資質、特性、経験等の潜在的能力を持つ者を受入れることを基本的な方針とする。

期待される入学者像

本学部は、『入学者受入方針』に基づいて以下の1，2，3を満たす学生を求めている。

1. 日本大学経済学部の教育理念と教育目標に共感する者
2. 多様な社会・文化の理解を通じて、相互に切磋琢磨し自己啓発・自己実現が出来る者
3. 経済学・経営学・会計学に関して独自の問題発見能力と問題解決能力を身につける意欲のある者

〈選抜方式〉－詳細と目的－

本学部は、『入学者受入方針』に基づいて、次に示すような多様な入学選抜方式をとる。

①A方式（本校試験）、②C方式（センター試験を利用した入試）、③付属高校に対する推薦入試、④指定校制推薦、⑤帰国生入試、⑥外国人留学生試験、⑦保健体育審議会推薦、⑧公募制推薦、⑨社会人入試、⑩AO入試、⑪校友子女入試。

さらに、2年次生以上を対象にした⑫編入学試験、⑬日本大学における学部間での転部（学部間）試験、⑭経済学部内における転部・転科・転籍・変更試験等を実施している。

以下、個々の選抜方式の理念と方針を説明する。

上述の①②のA方式（本校試験）とC方式（センター試験を利用した入試）は、入学志願者が学部の専門教育に相応した基礎学力の水準を備えているかを見るために実施している。また、文系のみならず理系の学生の入学を促すため、数学にウエイトをおいた選抜試験も実施している。

③の付属高校推薦入試は、日本大学としての高大一貫教育の成果を図るものとして実施している。

④の指定校制推薦入試は、受験勉強に偏ることなく充実した高校生活を送り、経済学部の教育理念と目標に共感し、問題意識に富む高校生を受入れるために実施する。加えて、経済学部の在学学生は、とかく首都圏に偏りがちであるので、指定高校を日本全国に分散させることにより、多様な地域の特性を担った志願者を受入れることを目指している。

⑤⑥の帰国生入試と外国人留学生入試は、日本とは異質の文化のもとで生活した学生を受入れることで、日本の教育を受けた学生たちとの間で異文化交流を図ることを目指すものである。異文化と接触することにより学生自身の文化意識を自覚させ、合わせて異文化に対する相互理解を促進することを目指している。

⑦⑧⑨の保健体育審議会推薦、公募制推薦、社会人入試の各入試は、志願者層を多様化し、それぞれが独自の資格やバックグラウンドを備えた学生や、社会経験に富む人材を受入れることにある。独自の資格や経験を有する入学者が、他の選抜方式により入学した学生との交流を通じて、相互に自己啓発をなすことを目指している。

⑩のAO入試は、経済学部の教育理念と目標に共感し、現代経済に潜む問題を主体性を持って発見・解決する意欲を持ち、リーダーシップを発揮できる学生を求める入試制度である。

⑪の校友子女入試は、私学としての日本大学の伝統を保持体現するために設けている。